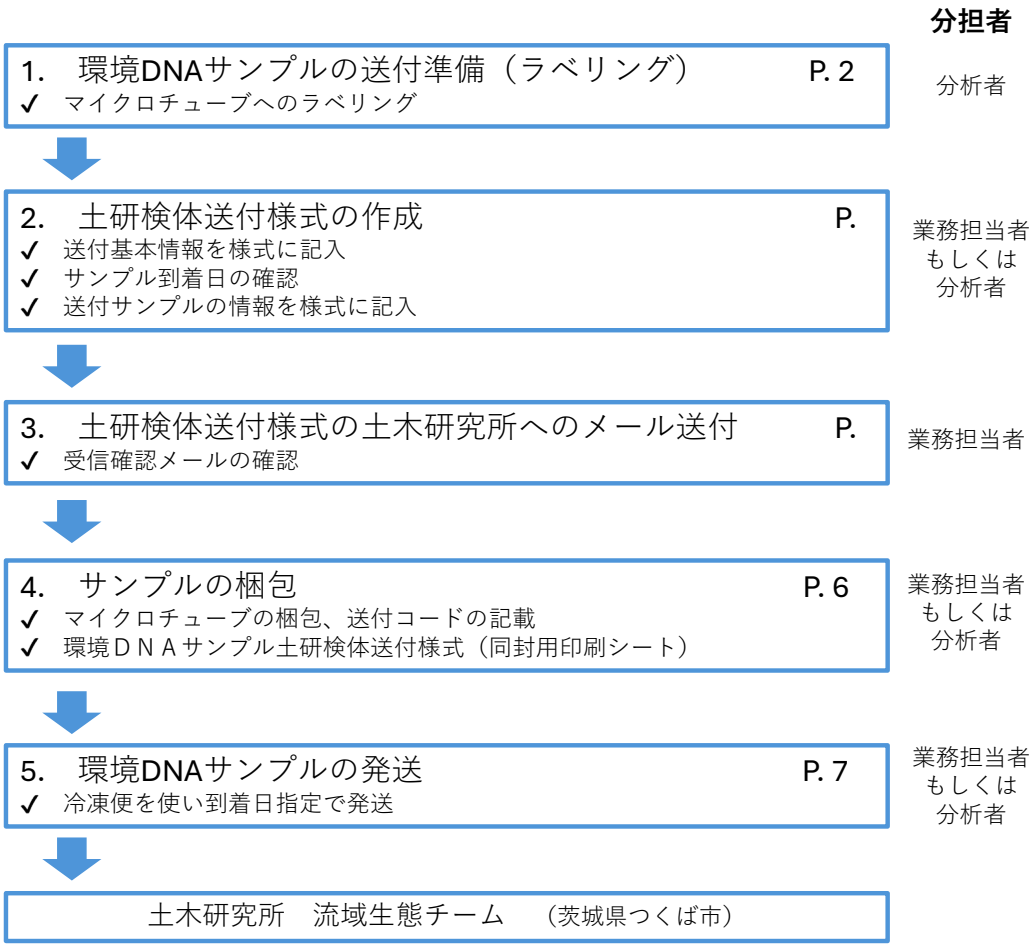
河川水辺の国勢調査　魚類環境 DNA 調査における使用済みの環境 DNA サンプルの送付について

令和８年４月１０日時点版
国立研究開発法人土木研究所
流域水環境研究グループ流域生態チーム

「河川水辺の国勢調査 魚類環境 DNA 調査」に供した使用済み環境 DNA サンプルは、基本調査マニュアル［河川版・ダム湖版］魚類環境 DNA 調査編に記載の通り、業務完了まで業務受注者が保管し、業務の完了時に河川管理に資する環境 DNA 分析技術の調査・研究への活用を目的として土木研究所へ譲渡することを基本としている。

サンプルの送付にあたっては、送付基本情報、サンプル情報を記載した土研検体送付様式の作成、土木研究所の受付アドレスへの様式の登録、土木研究所へのサンプル送付を行う。本資料では土木研究所への環境 DNA サンプル送付の流れを示す。



環境 DNA サンプルの送付フロー

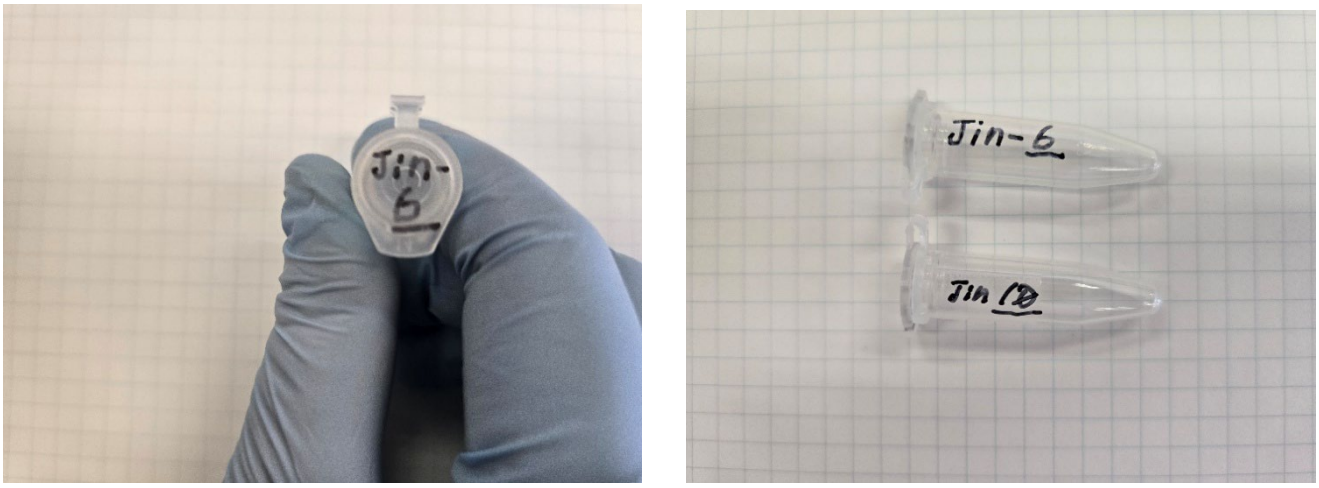
各フローの分担者は、業務の実施体制に応じて適切に設定されたい。

1. 環境 DNA サンプルの送付準備（ラベリング）

- 送付する環境 DNA サンプルは、環境 DNA 分析後に残った環境 DNA 全量とする（フィールドブランク等のコントロールサンプルも含む）。
- 予備サンプルとして取得し、分析に供していない DNA やろ紙を送付しても良い。
- サンプルを保存するマイクロチューブは 1.5mL または 2.0mL 容量のものを用いる。
- マイクロチューブには油性ペン、シールラベル等任意の方法でチューブの上部及び側面の双方にサンプル名を記載する。
- 記載するラベルははっきり識別できるようにし、印字が消えない、シールが剥がれないよう十分留意する。
- ラベルの文字は、混同しないように上下が区別できるよう留意する。

混同しやすい文字および対処方法の例

6 と **9**、**10** と **01**	：上下が区別できない時はアンダーバーを付け　**6**　**9**　**10**　**01**　と表記
0（ゼロ）と**O（オー）**	：ゼロは 0 に斜線を引く　**Ø**
1（イチ）と**I（アイ）**	：区別しにくい場合はイチを **1**、アイを **i** と表記



チューブのラベルの記載イメージ

2. 土研検体送付様式の作成

・ 送付基本情報 及び 送付する環境 DNA サンプルの情報を「土研検体送付様式」に記入する。
・ 作成の単位は、図に示す現地調査様式上部に記載の「河川名」もしくは「ダム名」の単位とする。

◎送付基本情報シート

✓ 「送付者情報」には、後日連絡が可能となるよう河川水辺の国勢調査の受注者である業務担当者の連絡先を入力する。
✓ 「サンプル到着日」には、下記のウェブサイトの最下段に掲載されている土木研究所のサンプル受取可能日を確認し、**土木研究所への到着日(発送日ではない)**を記入する（茨城県つくば市への配送所要日数は宅配事業者に事前確認のこと)。
【土木研究所 流域生態チーム ウェブサイト [https://www.pwri.go.jp/team/rrt/edna/]】
✓ 「宅配事業者情報」には、サンプル送付を依頼する宅配事業者と追跡番号（任意）を入力する。

◎検体送付様式シート

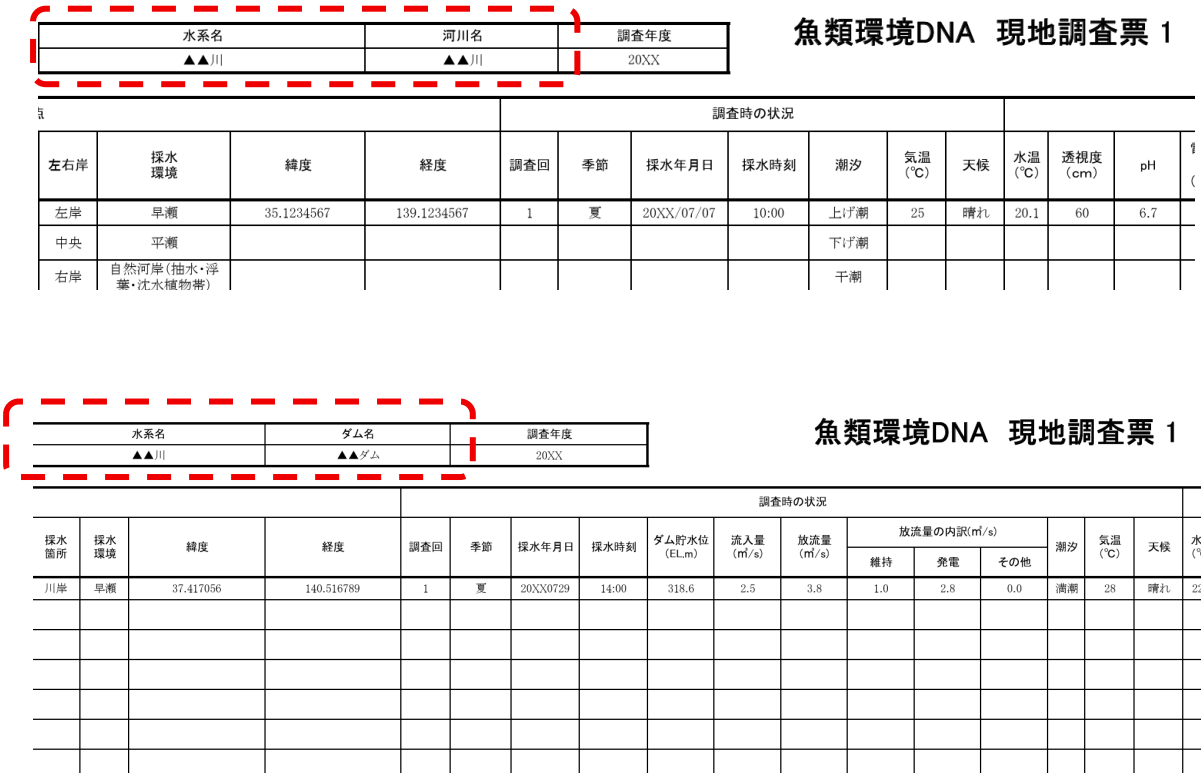
✓ 河川水辺の国勢調査のシステム（様式）に入力したデータに加え、サンプルラベル（マイクロチューブに記載したラベル)、水国以外の分析使用量及びフィールドブランクの有無等についてサンプル毎に入力する（記入に関しては、同エクセル内の【参考】データ項目定義シートを参考とすること)。
✓ 予備サンプルとして取得し、分析に供していない DNA やろ紙を送付する場合には、上記同様に様式に記入を行い、送付備考に「予備サンプル DNA」、「予備サンプルろ紙」等と内容がわかるように記入する。

・ 「土研検体送付様式」は下記より入手できる。
【土木研究所 流域生態チーム ウェブサイト [https://www.pwri.go.jp/team/rrt/edna/]】

・ 「土研検体送付様式」の送付時のファイル名は下記のとおりとする。
（土研検体到着日 6 桁）_（受注会社名）_（水系名）_（河川名 or ダム名）.xlsx
[例）260101_〇〇株式会社_××水系_××川.xlsx]
[（河川名 or ダム名）は現地調査様式上部に記載の「河川名」もしくは「ダム名」]

・ 「土研検体送付様式」の受付メールアドレスは下記の通り。送付後 3 営業日経過しても受信確認メールが届かない場合は送信エラー等が想定されるため、**5.問い合わせ先**まで連絡する。
【受付メールアドレス [edna-watersample1000ml@pwri.go.jp]】
【メールのタイトルは添付ファイル名と揃える[例）260101_〇〇株式会社_××水系_××川]】

・ 「土研検体送付様式」の送付の際は、発注担当者も cc にいれるなど、発注者と適宜送付状況の共有を図るように心がける。



魚類環境DNA　現地調査票 1

水系名	河川名	調査年度
▲▲川	▲▲川	20XX

				調査時の状況										
左右岸	採水環境	緯度	経度	調査回	季節	採水年月日	採水時刻	潮汐	気温(℃)	天候	水温(℃)	透視度(cm)	pH	
左岸	早瀬	35.1234567	139.1234567	1	夏	20XX/07/07	10:00	上げ潮	25	晴れ	20.1	60	6.7	
中央	平瀬							下げ潮						
右岸	自然河岸(抽水・浮葉・沈水植物帯)							干潮						

魚類環境DNA　現地調査票 1

水系名	ダム名	調査年度
▲▲川	▲▲ダム	20XX

				調査時の状況													
採水箇所	採水環境	緯度	経度	調査回	季節	採水年月日	採水時刻	ダム貯水位(EL.m)	流入量(㎥/s)	放流量(㎥/s)	放流量の内訳(㎥/s)			潮汐	気温(℃)	天候	
											維持	発電	その他				
川岸	早瀬	37.417056	140.516789	1	夏	20XX0729	14:00	318.6	2.5	3.8	1.0	2.8	0.0	満潮	28	晴れ	

図　現地調査様式上部に記載の「河川名」もしくは「ダム名」

表　環境 DNA サンプル土研検体送付様式の入力項目（送付基本情報シート）

2026.4.10ver

◎送付基本情報

送付サンプル情報と送付される企業の担当者の情報を記入してください。サンプル送付にあたって土木研究所担当者に伝えるべき情報があれば必要に応じて備考に記載お願いします。

水系名	例）〇〇水系
河川名・ダム名	例）〇〇川 or 〇〇ダム
調査種別	
受注者の会社名	例）㈱〇〇
受注者の担当部署名	例）環境事業部 環境調査チーム
受注者の担当者名	例）土研太郎
受注者の担当者電話番号（直通）	例）000-0000-0000
受注者の担当者メールアドレス	例）example@xxx.com
備考	

◎サンプル到着日

下記URLより土木研究所の担当者が受け取りができる日付を確認いただき、『〇』のついている日の中から、郵送いただくDNAサンプルの土木研究所への到着日時を記載してください。

https://www.pwri.go.jp/team/rrt/edna/

到着日時	例）2026/3/20

◎サンプル送付の宅配事業者情報

郵送いただくDNAサンプルの宅配事業者の情報を入力してください。登録時点で追跡番号等が不明な場合は空白で構いません

宅配事業者名	例）ヤマト運輸
追跡番号等	000000000000

表　環境 DNA サンプル土研検体送付様式の入力項目（検体送付様式シート）

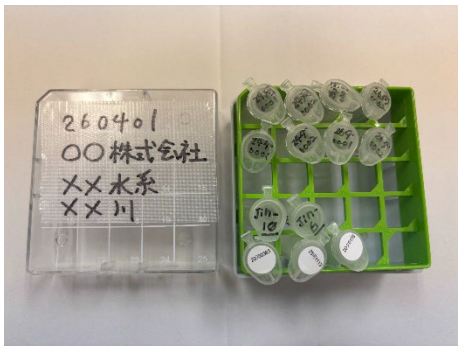
魚類環境DNA 調査編［河川版］		魚類環境DNA 調査編［ダム湖版］		検体送付様式	
現地調査票1（共通） 地方整備局等	⇒	現地調査票1（共通） 地方整備局等	⇒	共通：地方整備局等	
現地調査票1（共通） 事務所等	⇒	現地調査票1（共通） 事務所等	⇒	共通：事務所等	
現地調査票1（共通） 水系名	⇒	現地調査票1（共通） 水系名	⇒	共通：水系名	
現地調査票1（共通） 河川名	⇒		⇒	共通：河川名	河川のみ記載
	⇒	現地調査票1（共通） ダム名	⇒	共通：ダム名	ダムのみ記載
現地調査票1 地点番号	⇒	現地調査票1 地点番号	⇒	採水：地点番号	
	⇒	現地調査票1 地点名	⇒	採水：地点名	ダムのみ記載
現地調査票1 試料名	⇒	現地調査票1 試料名	⇒	採水：試料名	
現地調査票1 河川名				採水：河川名	河川のみ記載
現地調査票1 距離(km)	⇒		⇒	採水：河川距離標	河川のみ記載
	⇒	現地調査票1 ダムサイトからの距離(km)	⇒	採水：ダムサイト距離	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 ダム湖環境エリア区分	⇒	採水：ダム湖環境エリア区分	ダムのみ記載
現地調査票1 汽水域の有無	⇒	現地調査票1 汽水域の有無	⇒	採水：汽水域の有無	
現地調査票1 採水箇所	⇒	現地調査票1 採水場所	⇒	採水：採水箇所	
現地調査票1 左右岸	⇒		⇒	採水：左右岸	河川のみ記載
現地調査票1 採水環境	⇒	現地調査票1 採水環境	⇒	採水：採水環境	
現地調査票1 緯度	⇒	現地調査票1 緯度	⇒	採水：緯度	
現地調査票1 経度	⇒	現地調査票1 経度	⇒	採水：経度	
現地調査票1 調査回	⇒	現地調査票1 調査回	⇒	採水：調査回	
現地調査票1 季節	⇒	現地調査票1 季節	⇒	採水：季節	
現地調査票1 採水年月日	⇒	現地調査票1 採水年月日	⇒	採水：採水年月日	
現地調査票1 採水時刻	⇒	現地調査票1 採水時刻	⇒	採水：採水時刻	
現地調査票1 潮汐	⇒	現地調査票1 潮汐	⇒	採水：潮汐	
	⇒	現地調査票1 ダム貯水位	⇒	採水：ダム貯水位	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 流入量(㎥/s)	⇒	採水：ダム流入量	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 放流量(㎥/s)	⇒	採水：ダム放流量	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 放流量の内訳(㎥/s)：維持	⇒	採水：ダム放流量：維持	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 放流量の内訳(㎥/s)：発電	⇒	採水：ダム放流量：発電	ダムのみ記載
	⇒	現地調査票1 放流量の内訳(㎥/s)：その他	⇒	採水：ダム放流量：その他	ダムのみ記載
現地調査票1 気温（℃）	⇒	現地調査票1 気温（℃）	⇒	採水：気温	
現地調査票1 天候	⇒	現地調査票1 天候	⇒	採水：天候	
現地調査票1 水温(℃)	⇒	現地調査票1 水温(℃)	⇒	採水：水温	
現地調査票1 透視度(cm)	⇒	現地調査票1 透視度(cm)	⇒	採水：透視度	
現地調査票1 pH	⇒	現地調査票1 pH	⇒	採水：pH	
現地調査票1 電気伝導度（EC）（mS/cm）	⇒	現地調査票1 電気伝導度（EC）（mS/cm）	⇒	採水：電気伝導度	
現地調査票1 流速	⇒	現地調査票1 流速	⇒	採水：流速	
現地調査票1 塩分濃度（%）	⇒	現地調査票1 塩分濃度（%）	⇒	採水：塩分濃度	
現地調査票1 採水機材	⇒	現地調査票1 採水機材	⇒	採水：採水機材	
現地調査票1 採水容器	⇒	現地調査票1 採水容器	⇒	採水：採水容器	
現地調査票1 採水水深（cm）	⇒	現地調査票1 採水水深（cm）	⇒	採水：採水水深	
現地調査票1 魚影等の有無	⇒	現地調査票1 魚影等の有無	⇒	採水：魚影等の有無	
現地調査票1 採水量（ml）	⇒	現地調査票1 採水量（ml）	⇒	採水：採水量	
現地調査票1 DNA分解抑制対策：有無	⇒	現地調査票1 DNA分解抑制対策：有無	⇒	採水：DNA分解抑制対策：有無	
現地調査票1 DNA分解抑制対策：薬品名等	⇒	現地調査票1 DNA分解抑制対策：薬品名等	⇒	採水：DNA分解抑制対策：薬品名等	
現地調査票1 DNA分解抑制対策：添加量(ml)	⇒	現地調査票1 DNA分解抑制対策：添加量(ml)	⇒	採水：DNA分解抑制対策：添加量	
現地調査票1 保管方法：現地	⇒	現地調査票1 保管方法：現地	⇒	採水：保管方法：現地	
現地調査票1 保管方法：輸送～ろ過	⇒	現地調査票1 保管方法：輸送～ろ過	⇒	採水：保管方法：輸送～ろ過	
現地調査票1 備考	⇒	現地調査票1 備考	⇒	採水：備考	
現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(作成時)	⇒	現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(作成時)	⇒	フィールドブランク：試料名(作成時)	FBのみ記載
現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(ろ過時)	⇒	現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(ろ過時)	⇒	フィールドブランク：試料名(ろ過時)	FBのみ記載
現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(抽出以降)	⇒	現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：試料名(抽出以降)	⇒	フィールドブランク：試料名(抽出以降)	FBのみ記載
現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：備考	⇒	現地調査票1 フィールドブランクに関する情報：備考	⇒	フィールドブランク：備考	FBのみ記載
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：ろ過：実施年月日	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：ろ過：実施年月日	⇒	ろ過：実施年月日	
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：ろ過：分析回	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：ろ過：分析回	⇒	ろ過：分析回	
現地調査様式6 ろ過場所	⇒	現地調査様式6 ろ過場所	⇒	ろ過：ろ過場所	
現地調査様式6 フィルター種類	⇒	現地調査様式6 フィルター種類	⇒	ろ過：フィルター種類	
現地調査様式6 孔径（μm）	⇒	現地調査様式6 孔径（μm）	⇒	ろ過：フィルター孔径	
現地調査様式6 ろ過量(ml)	⇒	現地調査様式6 ろ過量(ml)	⇒	ろ過：ろ過量	
現地調査様式6 使用したろ紙等の数(枚)	⇒	現地調査様式6 使用したろ紙等の数(枚)	⇒	ろ過：使用したろ紙等の数	
現地調査様式6 保管方法：現地ろ過時の現地～室内までの輸送	⇒	現地調査様式6 保管方法：現地ろ過時の現地～室内までの輸送	⇒	ろ過：保管方法：現地ろ過時の現地～室内までの輸送	
現地調査様式6 保管方法：DNA抽出まで	⇒	現地調査様式6 保管方法：DNA抽出まで	⇒	ろ過：保管方法：DNA抽出まで	
現地調査様式6 備考	⇒	現地調査様式6 備考	⇒	ろ過：備考	
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：DNA抽出：実施年月日	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：DNA抽出：実施年月日	⇒	抽出：実施年月日	
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：DNA抽出：分析回	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：DNA抽出：分析回	⇒	抽出：分析回	
現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：使用キット	⇒	現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：使用キット	⇒	抽出：DNA抽出キット	
現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：溶出バッファー量(μl)	⇒	現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：溶出バッファー量(μl)	⇒	抽出：溶出バッファー量	
現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：プロトコール上の代替法等の使用等	⇒	現地調査様式7-1 フィルターからのDNA抽出：プロトコール上の代替法等の使用等	⇒	抽出：プロトコール上の代替法等の使用等	
現地調査様式7-1 プロトコール上の代替法等の使用等：備考	⇒	現地調査様式7-1 プロトコール上の代替法等の使用等：備考	⇒	抽出：備考	
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：鋳型DNAの精製：実施年月日	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：鋳型DNAの精製：実施年月日	⇒	精製：精製年月日	
現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：鋳型DNAの精製：分析回	⇒	現地調査様式5 分析等の実施年月日/分析回：鋳型DNAの精製：分析回	⇒	精製：分析回	
現地調査様式7-1 鋳型DNAの精製：精製方法	⇒	現地調査様式7-1 鋳型DNAの精製：精製方法	⇒	精製：精製方法	
現地調査様式7-1 鋳型DNAの精製：備考	⇒	現地調査様式7-1 鋳型DNAの精製：備考	⇒	精製：備考	
現地調査様式5 備考	⇒	現地調査様式5 備考	⇒	分析：備考	
現地調査様式15 分析に供した量（μL）	⇒	現地調査様式15 分析に供した量（μL）	⇒	管理：分析使用量	
現地調査様式15 保管温度（℃）	⇒	現地調査様式15 保管温度（℃）	⇒	管理：保管温度	
現地調査様式15 備考	⇒	現地調査様式15 備考	⇒	管理：備考	

検体送付様式への付随情報	
アーカイブ：採水会社名	様式外の項目
アーカイブ：ろ過会社名	様式外の項目
アーカイブ：抽出会社名	様式外の項目
アーカイブ：分析会社名	様式外の項目
アーカイブ：水国以外の分析使用量	様式外の項目
アーカイブ：ブランク種別	様式外の項目
アーカイブ：対応フィールドブランク	様式外の項目
アーカイブ：対応ろ過ブランク	様式外の項目
アーカイブ：対応抽出ブランク	様式外の項目
アーカイブ：送付備考	様式外の項目

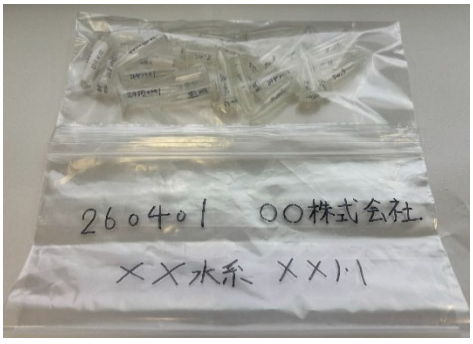
3. 環境 DNA サンプルの梱包

- 環境 DNA サンプルが入っているマイクロチューブのフタが完全に閉じていることを確認し、フリーズボックスやチャック付きビニール袋等に収納する。ここで使用するフリーズボックスやチャック付きビニール袋は、環境 DNA の汚染を防ぐため、過去に組織 DNA サンプルや PCR 産物の保管に用いたものを再利用しないこと。
- マイクロチューブを収納したフリーズボックスやチャック付きビニール袋等の外側には、油性ペン等任意の方法で**「土研検体到着日 6 桁」「受注会社名」「水系名」「河川名 or ダム名」を必ず記載**する。
- マイクロチューブを収納したフリーズボックスやチャック付きビニール袋等を段ボール等の箱に梱包する。輸送時に送付物の破損やマイクロチューブのキャップがあくことが無いように、梱包の際は緩衝材等を用いて送付物を固定する。
- 2. で作成した「土研検体送付様式」の**同封用印刷シート**を印刷し、梱包時チェック項目をチェックの上、送付物に同封する。
- 送付する環境 DNA サンプルは、宅配業者への引き渡し直前まで冷凍保管する（-18℃以下を目安）。冷凍保管の際には、PCR 産物、魚類等の生物の個体や生物の組織等から抽出した DNA とは同所的に保管しないなど、コンタミネーションの防止に配慮すること。
- サンプルの送付に使用したフリーズボックス、緩衝材を含むすべての資材の返送は行わない。

フリーズボックスの例



フリーズボックスの例



チャック付きビニール袋の例

マイクロチューブの梱包イメージ

段ボールへの梱包イメージ

4. 環境 DNA サンプルの発送

- 4.の環境 DNA サンプルは、**冷凍便**（冷蔵・チルド便ではない）を用いて発送する。
- 送り状の品名等の欄に**「受注会社名」「水系名」「河川名 or ダム名」**を必ず記載する。
- 配達時間帯は、8:30～17:00 までの間に指定する。
- 業務担当者の所属先以外（社内の分析部署、再委託先の分析会社等）の者が代理発送者として直接サンプルの発送を行う場合は、宅配業者による荷物の発送元への返送時に備え、代理発送者の住所・連絡先を送り状の発送元として記載する。
- やむをえない事情で土木研究所に着払いにて送付する場合は、あらかじめ巻末の問い合わせ先に相談する。
- 土研検体様式のメール受付後に不測の事態が発生し、土木研究所へのサンプル到着日が変更になった場合は、**5.問い合わせ先**に変更後の到着日を必ず連絡する。

◎環境 DNA サンプルの送付先

〒305-8516 茨城県つくば市南原 1 番地 6
国立研究開発法人土木研究所 流域生態チーム宛

5. 問い合わせ先

国立研究開発法人 土木研究所
流域水環境研究 G 流域生態チーム　環境 DNA 担当
TEL：029-879-6775
Mail：eDNAarchive-since2020(at)pwri.go.jp
(at)を@に置き換えてください

環境 DNA サンプルの送付に関する Q&A

1. 環境 DNA サンプルの送付準備（ラベリング）

Q：環境 DNA を保存するマイクロチューブのメーカー指定、製品指定、仕様等はあるか。

A：メーカー指定、製品指定はありませんが、低吸着の商品が望ましいです。仕様については 1.5mL または 2.0mL 容量のマイクロチューブを用いることとします。キャップや底部等の形状や目盛りの有無に関わる指定はありませんが、キャップ上部が平らであるものが望ましいです。

Q：環境 DNA の入ったマイクロチューブのラベルは水国調査の試料名と同一にする必要はあるか。

A：必ずしも同じにする必要はありませんが、ラベルが長くなる場合は適宜に短く変更し、土研検体送付様式にそれぞれの記入をお願いいたします。

Q：環境 DNA サンプルのラベルは、マイクロチューブに直接マジックで書いてもよいか。

A：マイクロチューブに直接書いていただいて構いません。

Q：マイクロチューブにシールを使ってラベリングする場合、シールに規定はあるか。

A：チューブから剥がれないシールを使用してください（剥がれやすいものは避けてください）。また、シールはチューブの外側に貼り付けてください

Q：精製前の抽出 DNA や予備検体は送付するのか。

A：これらのサンプルを送付いただいても構いません。その際は土研検体送付様式の送付備考に精製前の抽出 DNA や予備検体と記入してください。

2. 土研検体送付様式の作成・送付

Q：精製前の抽出 DNA や予備検体は送付する場合はどのように記載すればよいか。

A：送付備考に精製前の抽出 DNA や予備検体と記入してください。また、精製年月日等の精製に係る項目はその検体にあわせてそれぞれ入力してください。

3. DNA サンプルの梱包

Q：フリーズボックスのメーカー指定、製品指定、仕様（サンプル数等）に指定はあるか。

A：特に指定はありませんが、組織 DNA サンプルや PCR 産物の保管に用いたものは使用しないようにしてください。

Q：梱包する際に保冷剤を同封した方がよいか。

A：保冷剤の同封は不要です。

Q：フリーズボックス等を梱包する際は緩衝材が必要か。
A：気泡緩衝材（プチプチ）やペーパータオルなどを緩衝材として用いて梱包してください。

4. サンプルの発送

Q：サンプルを発送したことを発送時に連絡した方がよいか。
A：発送直後のご連絡は不要です。トラブルなどで到着日が変更になった場合のみご連絡ください。

Q：再委託先（分析会社等）から直接送付してもよいか。
A：再委託先から直接送付いただいても構いません。到着日は土研検体送付様式に記載した日付を必ず指定してください。なお、万が一トラブル等で返送された場合を考慮し、送り状発送元は再委託先の連絡先を記載してください。

Q：時間指定をせず発送してしまった。
A：その旨を**5.問い合わせ先**までご連絡ください。その際に発送物の追跡番号もお伝え下さい。

Q：登録した到着日と異なる到着日で発送してしまった。
A：その旨を**5.問い合わせ先**までご連絡ください。その際に発送物の追跡番号もお伝え下さい。

Q：受領確認の連絡はあるのか。
A：検体の受領確認の連絡は行っておりません。個別に確認されたい場合は**5.問い合わせ先**までご連絡ください。

Q：複数の業務の環境 DNA サンプルを同一便で発送してもよいか。
A：同一便でも構いませんが、必ず業務ごとに土研検体送付様式の作成・送付を行ってください。異なる業務の検体であることがわかるように個別に包装をお願いいたします。また、送り状の品名に記載する内容は全業務分を列挙してください。

Q：検体の到着日は工期外でもよいか。
A：可能な限り工期内にご提出いただければと思いますが、やむを得ない事情がある場合は、工期外でも構いません。なお、その場合においても工期終了後 1 カ月以内の送付をお願いいたします。発注者と相談して送付タイミングを決定してください。

5. その他の事項

Q：魚類環境 DNA 調査以外の種特異的解析等で検体を使用する場合は送付しなくてもよいか。
A：検体は原則送付としておりますが、河川管理者の検体の活用を妨げるものではございません。活用

後の残量をご送付ください。

Q：検体の一部を毀損（紛失）してしまった場合どうすればよいのか。
A：毀損した検体に関する情報（季節、地点など）を土研検体送付様式作成時に送付基本情報シートの備考欄に記載してください。なお、何らかの事情によりすべての検体を破損・逸失した場合は、その旨を**5.問い合わせ先**までご連絡ください。

Q：土研検体送付様式の作成・メール送付は発注者が実施しないといけないのか。
A：受注者に実施いただいても構いません。

Q: ダム湖版マニュアルのみの記載だが（魚類環境 DNA 調査編（案）【ダム湖版】、Ⅱ-1)、現地調査計画の策定～分析までは「水質監視分析業務」で実施し、とりまとめ・報告書作成は「調査設計業務」で実施するとある。とりまとめ業務が分かれる場合は、分析を行った「水質監視分析業務」完了時のタイミングでサンプル提出ということでよいか。
A：ダムにおいてとりまとめ業務が分かれる場合は、分析を行った「水質監視分析業務」完了時のタイミングで送付いただく認識で問題ございません。

Q: 分析に供していない「ろ紙」を送付する際は、新たにマイクロチューブへ溶出する必要はないという認識でよいか。
A：新たに溶出等の作業を実施していただく必要はございません。

Q: ろ過ブランク及び抽出ブランクについて、分析会社における「他の分析との共用」や「内部管理の関係」などの理由で提供できない場合は送付しなくても問題ないか。
A：分析会社の都合で残サンプルとして提供できない場合は送付いただかなくても問題ありません。様式の「送付備考」の欄にその旨を記載ください。